

## 第6回 焼津市総合計画等審議会

1 開催日時 平成22年4月28日(水) 13:30～16:00

2 開催場所 焼津市役所 本庁舎 603号室

### 3 次 第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 第5次総合計画基本構想案および第3次国土利用計画案のパブリックコメントについて(資料1、2)

(2) 第5次総合計画基本計画の検討経過について(中間報告)(資料3)

4. その他

5. 閉会

### 4 出席者

(委員)

日詰 会長

徳山 副会長

内田 委員

岡村 委員

松田 委員

森 委員

林 委員

藤野 委員

保科 委員

(事務局)

渡仲 企画財政部長

石野 企画調整課長

飯塚 企画調整課総合計画担当主幹

海野 企画調整課総合計画担当主任主査

山内 企画調整課企画調整担当主任主事

(コンサル)

株式会社総合設計事務所 山脇氏

JMAC 酒井氏、宮城氏

(欠席：内山委員、松永委員、松村委員、村松委員、小島委員、児玉委員)

### 5 議事録 別紙のとおり

(発言内容等については、要約し、「である」調に統一している。)

	<p>&lt; 審議会等の会議の公開に関する要領に基づき会議を公開。(傍聴者1名)&gt;</p>
1.開会 (石野企画調整課長)	<p>第6回 焼津市総合計画等審議会開会。</p>
2.会長あいさつ (日詰会長)	<p>昨年度からつめてきているところで、本日は先日行ったパブリックコメントの結果報告をしていただくことと、基本計画の策定作業が施策評価の段階に入ってきておりそちらの報告もしていただく予定である。</p> <p>本日も、よろしく願いたい。</p>
3.議事	<p>&lt;(1)第5次総合計画基本構想案および第3次国土利用計画案のパブリックコメントについて、事務局より説明&gt;</p> <p>以下、質疑応答</p>
徳山委員	<p>総合計画と国土利用計画それぞれについて、3件の意見が出ているが、行政として、ある程度地域を代表する意見ととらえているか、もしくはたまたま出てきた個別の意見ととらえているか。</p>
事務局	<p>今回の意見については個別の意見と考えている。</p>
林委員	<p>合併で組織風土、生活スタイルが異なるところが一緒になり、それぞれ思惑が違いためこうした意見が出てくるのは当然のことと思う。市民が一体となれるような施策をこうじていくべき。</p>
事務局	<p>合併により大なり小なり意見をいただいているところである。今回いただいた意見も含め、当然そうしたことを考慮しながら施策を進めるべきだと認識している。</p> <p>今回いただいた具体的な意見については個別の事業計画等の中で反映させていただくが、総合計画と国土利用計画という大きなビジョンについてのパブリックコメントとしてのご意見に対する回答としては、お示した内容のようになることをご理解いただきたい。</p>
岡村委員	<p>地域の懇談会への参加人数はどれほどか。</p> <p>また、協働はこれからとても重要な分野だと思うので、市民から協働に対する意見が出てきたのは喜ばしいことである。</p>
事務局	<p>具体的な事業計画ではないため、大きな括りとして約500世帯を対象とし、11月18日の地区懇談会は29名、2月2日から4日まで地区住民の意見を聞く会には、2日は22名、3日は70名、4日は21名の方にご参加いただいた。</p> <p>また、協働については市としても重要施策ととらえている。具体的な内容が</p>

<p>藤野委員</p>	<p>見えないとのご意見であるが、回答のとおり具体的な取組み等については、基本計画の中で示していきたい。</p> <p>意見をぶつけてきた方は土地利用、都市計画にかなり詳しい方であると思う。そういった中で、同意できない等の否定的な部分ばかり（回答に）抜粋されているが、総合計画に対して出された No.1 の提案などはとても良いアイデアだと思う。</p> <p>そうした中で、さきほどの懇談会への参加人数も決して多いわけではなく、関心のあるのは一部の人で、その一部の意見だけで大きな構想が決まってしまうというのは怖いことだと思う。</p> <p>旧大井川地区は調整区域のまちで、調整区域で何もできなかったという意見と、調整区域だからこそ農業がのびのびできた、と相反する意見がある。</p> <p>一部の人の意見だけで突っ走るのではなく、自治会などを通して意見をより集めて、大きな住民の意見としてとりあげて、構想を練っていくのが一番良いのかと思う。</p>
<p>日詰会長</p>	<p>貴重なご意見だと思う。やはり利害が輻輳しているところであろうから、丁寧に対応していただくのが良いと思うので、地域の方々との対話とかコミュニケーションを大事にしていきたい。</p>
<p>保科委員</p>	<p>意見に対する回答が簡素すぎないか。意見を寄せてくれた方は納得するのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回のパブリックコメントについては、総合計画と国土利用計画の案についての意見募集ということであり、直接的に関係のないご意見もあるため、「総合計画と国土利用計画の案についてのご意見に対する回答」としては、このようになると考えている。</p>
<p>松田委員</p>	<p>保科委員と同じ感想を持った。藤野委員もご指摘のように総合計画に対する No.1 の意見はとても面白い意見だと思うが、それに対し一行の回答というのは、果たしてこれで市民と対話をして協働が進むのかと思ってしまう。</p> <p>これから市民協働を重要な課題と位置づけるのなら、こうしたひとつひとつの対応が試されるし、関心のある方は見ていると思う。もう少し丁寧に回答していただければと思う。</p>
<p>日詰会長</p>	<p>たしかに少し味気ないかなと思う。修正が可能であれば、もう少し温かみのある対応をしていただくようお願いしたい。</p>
<p>森委員</p>	<p>地域住民の意見を聞く会は地元の要請で開いたのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>11月のものは市から開催し、2月のものは地元の要請により開催した。</p>

森委員	<p>地域住民の意見を聞く会で、はじめから個別具体的なものではない、ということきちんと説明していれば、具体的な意見は出なかったのではないか。</p>
日詰会長	<p>いずれにしる、市民の方と協力的な連携を模索しながら、第5次の総合計画の策定を進めようとしているため、あまりに技術ライクにやってしまうのではなく、お互いの心に通い合うようなやり方というものを、考えていただいた方が良いのかと思う。</p> <p>何名かの委員も同じように感じているため、回答の仕方をもう一度検討していただきたい。</p>
事務局	<p>回答の内容については概ねこのとおりであるが、表現について、ご指摘のようにもう少し丁寧なものに修正したい。</p>
日詰会長	<p>もちろん、できないものはできない、と回答せざるを得ないが、ひとつひとつなぜできないのか回答することはできるだろうし、そうしたキャッチボールが大事である。</p> <p>パブリックコメントは、市民から意見をいただき、行政が回答して終わってしまうが、もう少しキャッチボールがあっても良いと思うし、そうした中で行政と市民の信頼関係ができるのではないか。また、今回はその試金石となるかもしれない。だんだん市役所のみなさんも考え方を変えていければ良いと思う。</p> <p>今回は再び市民の方に説明する機会もないということで、出来る限り丁寧な回答にしていきたい。</p>
林委員	<p>地域の意見を聞くのは自治会を利用すべきで、パブリックコメントはあくまで補完的なものと考えべき。</p>
内田委員	<p>(地区懇談会のやりとりを見ると)住民の方は早急に身に迫ったものとしての反応が出ているが、そうではないですよ、ということその場では存分に説明しているので、この回答においても説明した方がよい。</p>
岡村委員	<p>行政の方には、短く簡潔に、が良いことである、と考えるほしい。</p> <p>協働は対等の立場であり、相手の身に立った回答をしてほしい。</p>
日詰会長	<p>事務局には、みなさんからいただいたご意見に前向きに対応いただきたい。</p> <p>&lt; (第5次総合計画基本計画の検討経過について、事務局より説明)&gt; 以下、質疑応答</p>

林委員	各施策の評価として、時系列比較や近隣との比較をしているが、その背景が曖昧模糊としている。成果が高いとか低いとかの判断基準が曖昧。何%向上した、といった表現にすべき。
事務局	<p>まず、これまであまり行政で行われてこなかった数値による成果水準の把握をしようとしている。そのため、施策の成果指標として必ずしも既存の統計データにあるものだけでは間に合わず、独自に市民意識調査を行い補完している。</p> <p>その調査は今回初めて行うものであり、過去との比較はできず、近隣との比較も直接にはできないものが多い。したがって、お示しするようにさまざまな要素を勘案し総体としての評価を文章で表現している。</p>
徳山委員	<p>環境のところ、政府の掲げる温室効果ガスの 25%削減という目標に対し、市の施策の課題として、何か掲げることはあるか。なかなか難しいと思うが。</p> <p>また、「健康づくりの推進」施策の成果指標について、「健康づくりに取り組んでいる人の割合」以外の指標は消極的（ネガティブ）な気がする。</p>
事務局	温室効果ガスの削減については先日の作業部会でも話題となったところであり、各施策の具体的な取り組み方針については、これから検討していきたい。
森委員	近隣との比較は、藤枝と比較するだけで良いのか。もっと全国的な位置付け等把握すべきではないか。
事務局	近隣で同規模の自治体ということで、藤枝市や島田市との比較をしている施策が多い。また、できるものは県内の平均との比較等もしている。
松田委員	<p>「互いに認め合い尊重されるまちづくり」施策で、男女共同参画関連のセミナー等の参加者数を把握されているが、県が推進している男女共同参画宣言をした事業所数も指標としてわかりやすいと思う。</p> <p>「市民参画と協働の推進」施策の課題については、自ら NPO に関わっているが、ずっと言われ続けていることであり、もっと力強い言葉で表現してほしい。</p>
事務局	市民参画と協働の推進について、市民意識調査による住民の期待度が低かったのは、協働に対する市民の理解がまだまだ低いのではないかと、という意見が市民会議においても出された。協働に対する意識啓発に取り組みたいと思う。
日詰会長	<p>このような形で現在基本計画の検討が進められているということであり、細かい内容については次回ご検討いただきたい。</p> <p>以上により、本日の議題は全て終了したため、進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	< 「その他」として、次回（6月2日）以降の開催日程を報告。 >

4 . 閉会  
(石野企画調整課長)

以上、第6回 焼津市総合計画等審議会閉会。